

あきた就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム事業実施計画【概要】

(令和2年7月22日 第2回あきた就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議で策定)

1 策定の背景/目的

※事業実施計画期間：第1ステージ：令和2年7月22日から令和5年3月31日まで
第2ステージ：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

- いわゆる就職氷河期世代※は、バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行った世代であり、希望する就職ができず、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業やひきこもりの状態にあるなど、様々な課題に直面している方は全国で約100万人に上ると見込まれている。
- 「あきた就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」では、こうした就職氷河期世代が抱える課題やニーズを踏まえ、各界が一体となって一人一人の状況に応じた支援に取り組むことにより、就職氷河期世代の**正社員就職・正社員化、職場定着の促進及び多様な社会参加の実現**を目指す。

※ 概ね平成5（1993）年～平成16（2004）年に学校卒業期を迎えた世代を指す。

2 目標・主な取組

①不安定な就労状態にある方

正規雇用者を**3,000人**増やす
主なKPI

- ・ハローワークの紹介件数 年間3,500件
- ・ハローワークの年間求人開拓件数 4,500件
- ・中小企業のセミナー及びマッチング事業参加企業数 10社

- ハローワークの専門窓口「ミドル世代応援コーナー」の設置
- ハローワークを始めとした相談体制の整備・充実
- 中小企業等と就職氷河期世代のマッチングを図る就職面接会の実施
- 職業訓練の実施等による雇用機会の拡大
- 労働局・ハローワークによる職場定着への支援
- 助成金等による企業の取組支援

②長年にわたり無業の状態にある方

就職活動に踏み出すための支援を行い、就労等の職業的な自立を促す支援につなげる
主なKPI

- ・地域若者サポートステーションの新規登録者数 年間180人以上

- 地域若者サポートステーションと福祉施策担当機関との連携強化による相談体制の整備・充実
- 地域若者サポートステーションやハローワーク等が連携した訓練プログラムの実施等による職業的な自立への支援
- ハローワークやサポステにおける企業及び本人に対する職場定着への支援

③社会参加に向けた支援を必要とする方

支援対象者の状況等を把握し、一人一人の状況に合わせた多様な社会参加に向けた支援体制を構築する
主なKPI

- ・市町村担当者ブロック会議、地域連絡協議会開催

- 市町村プラットフォーム設置に係る支援
- 市町村プラットフォームにおける課題等の収集や好事例の全体的波及を図るための検討
- 生活困窮者自立支援事業の充実
- 市町村におけるひきこもり相談窓口の明確化と支援体制の充実
- 支援者の資質向上に向けた研修の実施
- 支援対象者の実態把握

3 周知広報

◆ 社会気運の醸成・効果的な周知広報

- あきた就職氷河期世代活躍支援プラットフォームで採択した支援等を周知
- メディア、ホームページ、広報誌等あらゆるルートを通じた支援策の積極的な広報